

## 如月を迎えて

分所長 高木敏彦

節分大祭の人型活動、ご苦労様でした。寒い中での人型宣教は厳しいものですが、人型を書いていたけると嬉しいものです。

今年の綾部は厳しい寒さの中でしたが、節分らしい大祭でした。寒い中を長生殿に戻ってきた瀬織律姫の真剣な姿を見たときに、感動を覚えました。人群万類の俸せを祈り、挙げる祝詞の熱気で寒さも忘れてしまうほどでした。

刈谷分所より金明水を頂きましたので、各自ベッポトルなどを分所にご持参頂きお持ち帰りください。節分大祭のご神水を混ぜていますのでお蔭を頂いてください。

節分を終えると立春で、春に向かいますが、まだまだ厳しい寒さが続きますのでお体には気を付けてお過ごしください。

## 信教の自由

出口 王仁三郎

人間は天から降ったか、それとも地から生まれたのか。天から降ったものなら、必ず天国へ昇り帰るはずだ。地から生まれたものなら、再び地底に落ちていくだろう。生まれ先と死んだ後は、もはや人間ではない。人間を論ずるならば人生でたくさんだ。死なんがために生れたものは死んだがよい。寂滅為樂の宗門

の好きな人間なら誰にも遠慮は要らぬ。ドシドシ寂滅して樂となすがよい。アダム、イヴを人間の祖先と信じ、祖先の罪を引つかぶることの好きな人間は、自分を罪の子として、どこまでも謝罪し、一生罪人で暮らし、十字架を負うたがよい。

神の分身分霊と信じ、神の子神の宮と自分を信ずるものは、どこまでも永遠無窮の生命を保ち、天国に復活して、第二の自分の世界に華やかに活動するがよい。人間はどうせ裸体で生まれて裸体で天国に復活するのだ。その人間の行路はなかなか面白いものだ、そこに人生の価値があるのだ。

永遠に生きんとするには第一に信仰の力が要る。その力は神によれる力が最も強く、その言霊大きくなくてはならぬ。人生に宗教のあるのは全ての樹草に花のあるようなものだ。花が咲いてそして立派な実がみのである。いずれにしても信教は自由だ。意志信念のままなる天地だ。天国に落ちるも昇るも、地獄に楽しむも苦しむも、自ら罪人となって喜ぶも泣くも、意志の自由だ。人間は各自勝手に宗教を選択するがよい、それがいわゆる信教の自由というものかも知れぬ。

## 「惟神の道」より

## 主な行事予定

2月8日(日) 午後1時半より

碧南分所月次祭 担当第1班

2月15日(日) 午前10時より

三河本苑月次祭 担当第2ブロック

2月22日(日)

教本認定3級講習会 三河本苑にて

3月8日(日) 午後1時半より

碧南分所月次祭 担当第2班

3月15日(日) 午前10時より

三河本苑月次祭・全体会議 女性祭員

による雛祭り祭典

3月28・29日(土・日)

祭式講習会(3・4級) 三河本苑にて

## 2月の誕生者

おめでとつございます！

三浦 据奥 2日 加藤 結花里 4日 小笠原

健 8日 蒲生 百合子 9日 高橋 さかえ 1

0日 石川 四方子 榎本 さおり 15日 奥谷

衛子 片岡 忠 18日 小笠原 春代 20日

大塚 風香 安藤 雄馬 22日 鈴木 はるみ

26日 市古 由美 28日